

安全衛生管理計画作成の手引き

1. はじめに

事業の運営に際しての（プランニング）の重要性については他言を要するまでもなく、各企業におかれては営業計画、生産計画等何らかの形で計画を有しているものと思われます。

安全衛生管理計画もこれらの経営に関する計画と同様の手法で作成し得るものであり、一般に、（１）現状の把握、分析、（２）問題点の抽出、（３）目標の設定、（４）具体的実施計画の手順で作成することとなります。

計画書の形式（書式）は企業独自のものを作成することが望ましいと考えられますが、一応参考例として本書式を示したものです。

2. 記載要領

（１）１．について

イ．死傷件数は、負傷と職業性疾病（中毒）の件数で、概ね過去３ヶ年分について記入します。

ロ．労働損失日数は、休業日数×300/365で算定し、死亡、障害等級該当災害については、次のとおりです。

身体障害等級	死亡	1~3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
労働損失日数	7500	7500	5500	4000	3000	2200	1500	1000	600	400	200	100	50

ハ．度数率＝死傷者件数／延労働時間数×1,000,000（死傷件数には不休災害を含まない）

強度率＝労働損失日数／延労働時間数×1,000で計算します。

ニ．「職業性疾病の発生状況」は過去３年の間に発生したものについて記入します。

ホ．「無災害継続状況」は、本計画作成時点において継続中の無災害（不休災害を除く）の状況を記入します。

（２）２．について

リスクアセスメントの実施状況を記入します。

（平成２８年６月より化学物質を使用する場合はリスクアセスメントの実施が義務化されました。）

（３）３．について

労働安全衛生マネジメントシステムの実施状況を記入します。

（４）４．について

イ．一般健診について、受診者数、有所見者数および有所見率を記入してください。また、深夜業に従事する者がいる場合、健診の受診者数と有所見者数を記入してください。

ロ．「特殊健診」には、法定の有害業務に係わるものと行政指導によるもの（例えば振動健診等）があります。

ハ．「受診者数」の１回目、２回目とは、年２回実施の場合について分けて記入します。

ニ．「２次健診受診者数」とは、有所見者のうち要精検等の指示によって２次健診を受診した者の数です。

（５）５．について

イ．本欄は、法定の作業環境測定が義務づけられている作業場について、実施状況を記入します。

ロ．「管理区分」は、作業環境測定機関等から提出された測定結果の書面に記載されており、管理区分が、第３管理区分である場合は、直ちに設備の点検、整備等により作業環境の改善を行わなければならないことと定められております。

（６）６．について

職場におけるメンタルヘルス対策の実施状況を記入します。

（平成２７年１２月より労働者５０人以上の事業場はストレスチェックが義務化されました。）

（７）７．について

イ．「安全衛生管理に関する基本方針」には、経営者の労働災害防止についての理念や基本姿勢等、訓示的な言葉を記入します。また、全社的なスローガンを定める場合はそれも記入します。

ロ．「災害減少目標」は、具体的な件数や災害率の減少目標値を定めて記入します。

ハ．「本年度の重点実施事項」は、特に重点として達成すべき事項又は目標を記入します。なお、個別的な項目でなくても、例えば「KY活動の定着」「ヒヤリ、ハット運動を全員で」等全体的な事項を記載してもよいです。

（８）８．について

（１）から（８）までのいずれの項目についても、まず、現状の把握分析を行って問題点を抽出し、その中から当年中に計画的に実施する事項を定めることとなります。特に、（４）（５）については、リスクアセスメントを実施し、優先順位の高いものから取り組みましょう。

令和8年度 安全衛生管理計画書（参考様式）

事業場名	(株) スーパー 帯広店	電 話	(0155) - - x x	管理番号	210
所在地	帯広市西 条南 丁目	労働者数	男 30 女 25 計 55		
事業の種類	その他の金属製品製造業	主な製品	金網、建築資材等		
総括安全衛生管理者職氏名	_____	安全管理者職氏名	製造課長 川 義		
衛生管理者職氏名	課係長 山×雄	安全衛生推進者職氏名	_____		
産業医 病院名氏名	(病院名) × 島病院 (氏名) × 島 二	マイクロバス 等による送迎 の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (所有台数 2 台) (送迎人数 30 人) <input type="checkbox"/> 無		
安全・衛生 委員会	委員の 人数	会社指名 5名 労働者推薦 5名 合計 10名			

管理番号は通知文書右下に記載のある < > 内の番号です。

1. 労働災害の発生状況（過去3年間）

	死 傷 件 数					労働損失 日数	延労働 時間数	災害率	
	死亡	休業4日以上	休業1~3日	小計	不労災害			度数率	強度率
令和5年	0	2	0	2	0	74.0	110,012	18.18	0.67
令和6年	0	0	1	1	1	1.6	115,725	8.60	0.01
令和7年	0	2	0	2	0	23.0	113,568	17.61	0.20

職業性疾病発生状況	(記入例) 令和5年に有機溶剤中毒(休業4日)1件発生
-----------	-----------------------------

無災害継続状況	令和7年 9月27日から 185日間(延 54328時間)継続中
---------	----------------------------------

2. リスクアセスメントの実施状況（化学物質のリスクアセスメントを含む）

- ・ 現在導入を検討中である
- ・ _____ 年より導入予定である
- ・ 令和6 年より運用中である
- ・ 導入の予定なし

当てはまる項目の を や とし、
_____ の部分に年数記入する。

3. 労働安全衛生マネジメントシステムの実施状況

- ・ 現在導入を検討中である
- ・ 令和9 年より導入予定である
- ・ _____ 年より運用中である
- ・ 導入の予定なし

当てはまる項目の を や とし、
_____ の部分に年数記入する。

4. 健康診断の実施状況（令和7年）

一般定期健康診断	受診者数	55名	有所見者数	26名	有所見率	47.3%
深夜業に従事する者の人数	17名	健診受診者数	17名	有所見者数	8名	

	対象業務	従事者数	受診者数			有所見者数	有所見率	2次健診受診者数
			1回目	2回目	計			
特殊健診	有機溶剤	2	2	2	4	0	0	0
	じん肺							
	その他()							

5. 作業環境測定実施状況（令和7年）

対象作業場名	実施年月日	測定結果の評価による管理区分
塗装ブース（有機溶剤）	令和7年 4月14日	第 1 管理区分
塗装ブース（有機溶剤）	令和7年 10月14日	第 1 管理区分

6. 職場におけるメンタルヘルス対策の実施状況（ ストレスチェックの実施状況を含む）

- ・ 現在導入を検討中である
- ・ 年より導入予定である
- ・ 年より運用中である
- ・ 導入の予定なし

当てはまる項目の や とし、
 の部分に年数記入する。

7. 労働災害減少目標

(1) 安全衛生管理に関する基本方針（スローガン）
<p>(例1) トップが率先 みんなが実行 つみ取る職場の危険</p> <p>(例2) ヒヤリハットは無言の警告、即座に対策 危険ゼロ</p>
(2) 災害減少の目標
<p>(例1) 年間無災害を目標とする</p> <p>(例2) 休業災害50%減少を目標とする</p>
(3) 本年度の重点実施事項（目標）
<p>(例1) リスクアセスメントの推進</p> <p>(例2) 派遣労働者の安全対策の推進</p> <p>(例3) フォークリフトの安全対策の推進</p>

8. 項目別実施計画

	実施事項	実施時期	担当
(1) 安全衛生管理体制の整備・強化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・危険予知活動を採用する。 ・生産ラインの班毎に安全衛生責任者を定め、安全当番制度を採用する。 ・安全衛生委員会の活動を活発にするための方策を定める。 ・職場の安全衛生パトロール体制を定め、定期的実施する。 ・安全衛生推進者の腕章（ワッペン）を着用する。 	月	係
		×月	××係
(2) リスクアセスメントに関する事項 (化学物質のリスクアセスメントを含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメント実施体制を確立する。(化学物質含む) ・危険性又は有害性を特定する。(化学物質含む) ・作業についてのリスクを見積もる。(化学物質含む) ・作業についてリスク低減措置を検討する。 	月	係
		×月	××係
		月	係
		月	係

(3) 職場におけるメンタルヘルス対策に関する事項 (ストレスチェックの実施状況を含む)	実施事項	実施時期	担当
	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス対策の実施体制を確立する。 ・安全衛生委員会における調査審議を実施する。 ・ストレスチェックを実施する。 	月 ×月 月	係 ××係 係

(4) 作業環境の整備・改善	実施事項	実施時期	担当
	安全に関する設備の改善等に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・作業場の安全通路を標示する。 ・機械の安全装置を改善する。 	月 月	係 ××係
	衛生に関する設備の改善等に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・塗装作業場の換気設備を改善する。 ・工場の手洗い、洗身設備を改善する。 ・工場の一斉整理（清掃）日を定めて実施する。 	月 ×月 月	係 ××係 ××係

(5) 作業方法の改善に関する事項	実施事項	実施時期	担当
	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の安全作業標準を作成する。 ・作業の工程（レイアウト）改善する。 ・塗装作業の保護マスクの着用を徹底する ・フォークリフトの作業計画を作成する。 	月 ×月 月 月	係 ××係 係 ××係

(6) 定期自主点検・健康診断・作業環境測定等に関する事項	実施事項	実施時期	担当
	<ul style="list-style-type: none"> ・機械設備の点検、整備体制を明確にする。 ・点検・整備のチェックリストを作成する。 ・フォークリフトの特定自主検査の実施（年1回） ・フォークリフトの定期自主検査の実施（毎月1回） 	月 月 ×月 毎月 日	係 係 ××係 ××係

(7) 安全衛生教育の実施に関する事項	実施事項	実施時期	担当
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規雇入れ者の安全衛生教育（実施訓練）を行う。 ・作業従事者の特別教育を行う。 ・ツールボックスミーティングを行う。 ・安全衛生講習会を開催する。 ・フォークリフト作業における安全教育の実施 	×月 月 月 ×月 ×月	係 ××係 係 係 係

(8) その他の労働災害の防止・健康増進のための行事等	実施事項	実施時期	担当
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ、ハット運動をする。 ・安全、衛生週間に行事を行う。 ・通勤等の交通安全について講習会やPRを行う。 ・メンタルヘルスケアに取り組む。 ・健康の保持増進に効果のある、労働時間の短縮、年次有給休暇の計画的取得等の対策を定める。 	月 ×月 ×月 ×月 月	係 ××係 係 係 係